



# 林業福島

No. **613**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



**9**

2015

監修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 自然になじむ治山ダム



# 新任あいさつ

公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団  
理事長 木村 吉幸

本年六月に、飯東昭三前理事長の後を引き継ぎ、ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団の理事長に就任いたしました。よろしくお願ひ申し上げます。当財団は、平成二五年四月より公益財団法人に移行し、平成二六年四月から五年間にわたる「ふくしま県民の森の指定管理者」となっています。

福島県は、七〇％以上を森林が占めていることから、「森林（もり）との共生」フォレスト・エコ・ライフ」を推進するために、福島県が整備したのが「ふくしま県民の森フォレストパークあだたら」です。「もつと森林と仲良くなりたい」「もつと森林のことが知りたい」という県民の思いから誕生した施設でもあり、自然とふれあいながら、自然環境の尊さを学び、様々な交流を広げていただく場および保健休養の場を、福島県民の皆様や全国の方々、ひいては外国からおいでの方々にも広くご提供して参りたいと思っています。

施設の概要としては、森林学習施設区域と、オートキャンプ場区域からなり、前者は森林館、森林学習館、ユースキャンプ場など森林に関する学習施設が中心となっていて、後者はビジターセンター、オートキャンプサイト、コテージなど、「森林との共生」を体験できる施設となっています。

平成二二年度の森林学習施設区域全体の利用者数は約一五万八千人、オートキャンプ場区域では約四万一千人でしたが、両施設とも自然を楽しんでいただく施設であることから、平成二三年三月の東日本大震災と原発事故の影響により、平成二三年度の利用者数は、前者は約八千人、後者は約二万三千人へと激減してしまいました。しかし、平成二六年度には前者が約一万四千人、後者が約四万人へと、徐々に利用者数が増加していることはまことに喜ばしい限りです。本年七月からは、新たに設置した給水施設により、震災で制限されていた地域への給水が可能になり、受け入れ数も増加しています。また、平成三〇年開催の「全国植樹祭」のサテライト会場候補地への取り組みも始まりました。

これからも、森林学習施設区域をさらに活用することにより、新たな事業展開（災害対応キャンプのプログラム）などにも積極的に取り組みながら、「ふくしま県民の森フォレストパークあだたら」の利用促進に努めて参りたいと思っておりますので、関係される皆様方のご協力をお願い申し上げます。簡単ですが新任のご挨拶とさせていただきます。

## 《も く じ》

とびら	第35回東北建築賞受賞	6
新任あいさつ	竹の活用に関する話題	7
公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団	「自然に親しむ」	8
理事長 木村 吉幸	普及指導員通信	9
トピックス	森連だより	10
全国植樹祭コーナー	きのこセンターだより	11
第41回福島県緑の少年団大会	木材市況・ふくしま東西南北	12
森づくり子ども大使派遣事業	はなしのひろば	13

# 全国植樹祭コーナー

〔第六九回全国植樹祭の福島県開催が決定〕 森林保全課

## 一 開催県の決定

平成二七年八月六日に開催された公益社団法人国土緑化推進機構の理事会において、平成三〇年の第六九回全国植樹祭の開催県を福島県とする

ことが正式に決定いたしました。

本県では、昭和四五年に猪苗代町天鏡台（現 昭和の森）において、「後継者の森の造成」をテーマとし、約二万人もの多くの方々が参加し開催された第二二回大会以来、四八年ぶり二度目の開催となります。

## 二 知事のコメント

今回の開催決定を受けて、内堀知事は次のとおりコメントを発表しました。

第六九回全国植樹祭の開催県として決定したことを大変うれしく思います。東日本大震災以降、被災地で行わ

れる初めての植樹祭であり、国土緑化に向けた国民的理解を深めることはもとより、福島県が震災と原子力災害から復興し、緑豊かなふるさとの再生を進めていく上で極めて重要なシンボル行事であります。また、天皇皇后両陛下の御臨席を始め、県内外から多くの方々に参加を頂く大会であることから、これまでの様々な御支援への感謝と復興へ着実に歩み続ける福島県の姿を広く発信する絶好の機会でもあります。今後は、実行委員会において基本計画、実施計画を策定し、式典会場等の決定を始め、開催テーマやシンボルマークの選定、開催気運を盛り上げるPR事業など具体的な準備をしっかりと進め、福島ならではの植樹祭を作り上げてまいります。

## 三 今後の予定

今後は大会の開催に向けて、天皇皇后両陛下お手植え樹種等の決定、式典行事計画の策定、式典会場の整備などを進めていくと共に、様々な機会を捉えたPR活動の展開、開催テーマやシンボルマークの選定、県内小学校で苗木を育てる「スクールステイ」などを実施してまいります。皆さんと一緒に、平成三〇年の全国植樹祭を盛り上げていきましょう。

# \*\*\* 第40回福島県林業祭 \*\*\*

第40回を記念し特別企画を設けるとともに、未来を担う子どもたちに、楽しみながら木にふれてもらう内容をさらに充実して開催しますので、是非、家族おそろいでおいでください。

- 1 期 日 平成27年10月17日(土)~18日(日)
- 2 場 所 郡山市安積町  
「福島県林業研究センター」ほか
- 3 特別企画
  - (1)特別展示 【40年前を振り返り、現在、未来の林業を考える展示】
  - (2)森林林業フォーラム 【これからの福島の森林・林業について】
- 4 各種催事
  - (1)林業関係の復興に関する展示
  - (2)体験・イベント等
- 5 共催行事 「第6回福島県チェーンソー選手権」
- 6 併催行事
  - (1)森林所有者経営相談会
  - (2)福島県きのこまつり
- 7 お問い合わせ先 福島県林業祭実行委員会  
事務局「福島県林業振興課」  
(TEL 024-521-7426)

# 第41回 福島県緑の少年団大会 ～福島県緑の少年団未来の森づくり大会～

（公社）福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局



記念撮影

現在、県内には一一〇団、五、一八四名の緑の少年団が結成されており、県内各地において、学習活動・地域の皆さんと一緒に活動の奉仕活動・レクリエーション活動などを積極的に行っております。緑の少年団大会は、県内の緑の少年団が一堂に会し、自然の中での学習などを通じてお互いに交流を深め、緑を愛する豊かな人間性を持つ、健康で明るい社

平成二七年七月二四日（金）、ビッグパレットふくしまにおいて、「第四一回福島県緑の少年団大会」を福島県緑の少年団育成協議会、（公社）福島県森林・林業・緑化協会の主催、福島県、福島県教育委員会、関東森林管理局、郡山市の後援により開催しました。



表彰式の様子



誓いの言葉の様子

会人になって欲しいという願いを込めて、開催しています。

今回の大会は、県内の緑の少年団員、先生、保護者など十四団体、一四三名の皆さんに参加していただき、関係者も含め全体で約一七〇名の参加となりました。

式典は、福島県緑の少年団育成協議会の渡邊裕樹会長の主催者挨拶に続き、畠利行副知事、品川萬里郡山市長から来賓祝辞をいただきました。続いて、今年五月に開催した活動発表大会の表彰式（別表のとおり）、県知事賞 大戸小学校緑の少年団による活動発表、東日本震災以降初めて新規結団した相馬市立山上小学校緑の少年団による誓いの言葉の順にとり行いました。

～ 別 表 ～

**福島県知事賞**

会津若松市立大戸小学校緑の少年団

**福島県教育委員会教育長賞**

会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団

**関東森林管理局長賞**

矢祭山みどりの少年団  
(矢祭町立内川小学校)

**福島県緑の少年団育成協議会長賞**

猪苗代町立緑小学校緑の少年団

**奨励賞**

会津若松市立謹教小学校緑の少年団

**その他の今大会参加団**

- 福島市立岡山小学校緑の少年団
- 開成小学校緑の少年団 (郡山市立開成小学校)
- 郡山市立穂積小学校緑の少年団
- 須賀川市立西袋第二小学校緑の少年団
- 田村市立栗田小学校緑の少年団
- 相馬市立山上小学校緑の少年団
- 飯豊小学校緑の少年団 (小野町立飯豊小学校)
- 大玉村立玉井小学校緑の少年団
- 大山小学校緑の少年団 (大玉村立大山小学校)

なお、「全国緑の少年団活動発表大会」に推薦した関東森林管理局長賞の矢祭山みどりの少年団（矢祭町立内川小学校）は、みどりの奨励賞（優良賞）に選ばれました。表彰式は、八月八日にふくしまフォレストパークあだたら（大玉村）で開催された「森と遊ぶ交流会」において行われました。

午後は会場を福島県林業研究センター、きこの振興センターに移し、昼食をはさんで苗木（マツ）栽培の学習やきこの栽培の学習、木工工作といった三つのメニューを六班に分けて交代しながら活動しました。

苗木栽培、きこの栽培の学習では、実際に育てているところを直に見学し、各専門指導員の説明に真剣な眼差しで一生懸命耳を傾けていました。

木工工作では、金鋸を使って釘を打ち込み、菌床ポット（兼貯金箱）を作りました。少年団の子どもたちは釘打ちに初めは苦戦しながらも徐々にコツをつかんで、夢中になって釘を叩いていました。

活動後は参加者全員が集まり記念撮影をして大会を終えました。

今大会は、新規結団した相馬市立山上小学校緑の少年団をはじめ受賞団以外の少年団が多数参加したことで、昨年より参加団数、団員数も増えましたが、三年後に開催する全国植樹祭に向けて、より一層緑の少年団活動を盛り上げていくために、今後ニーズのあった助成事業などのフォローアップをしていくとともに、こうした少年団大会などの校外活動への参加の働きかけも強化していく必要があります。



団員同士協力しあいながら木工工作をしている様子



きこのこの培養室を見学している様子



苗畑にて、マツの葉の感触を確かめる様子

# 森づくり子ども大使を秋田県に派遣

（公社）福島県森林・林業・緑化協会

福島県と当協会では、本県の子ど

もたちが、森や緑とふれあう野外活動の機会を増やすため、八月四日から五日まで秋田県立岩城少年自然の家で開催された「秋田県緑の交流集会」に郡山市立穂積小学校緑の少年団十一名（男九、女二）を「森づくり子ども大使」として派遣しました。

緑の交流集会には、本県から派遣した穂積小学校緑の少年団をはじめ



地引き網体験

め、秋田県からは、ボーイスカウト

秋田、MV東北秋田県緑の少年団、さくらシャインキッズの計四団体四六名（男二二、女二五）、各団体の引率者、秋田県職員、秋田県森の案内人、それに主催者の秋田県緑化推進委員会の職員計二八名を含めて合計七四名が参加しました。

初日の開会式では、穂積小学校緑の少年団たちが復興への歩みと未来



木工教室でのローテーブル製作

に向けて海岸林や森の復興に取組む決意を述べた後、自分たちが実践している少年団活動内容を紹介し、「これからもくじけずに前を向いて頑張つていきますので応援してください。」と会津地方に四〇〇年前から伝わる郷土玩具「起き上がり小法師」を秋田県の児童に贈呈しました。

それから全員で道川海岸にバスで移動し、秋田県の職員から森林と海の関係についての話を聞いた後、地引き網を体験しました。児童たちは、網を引くことの大変さをはじめ



ザリガニ釣り体験

夜は、児童が指導員の指導を受けながら作った提灯で足元を照らしながら、児童を六班に分け、真っ暗闇の林内歩道を歩く肝試しを兼ねたナイトハイイクにチャレンジしました。約一時間のナイトハイイクでしたが、全員が汗だくになって恐怖と闘いながら歩きました。

最終日となる二日目は、木工教室で小さなローテーブルを製作しました。キット製品ですが、組立てるのに金づちと釘を使います。釘が上手く打てない児童が多く、指導者の手を借りて最後まで頑張つて組立てていました。

自然観察では、森の案内人から樹木の名前や特徴を学びました。樹皮や葉に触れたり、葉脈を見たり、葉をちぎって匂いを嗅いだりと一生懸命に取り組みました。また、散策コースの途中にあるザリガニ生息池でザリガニ釣りを体験しました。

このようにして二日間はあっという間に過ぎましたが、穂積小学校の児童たちは、秋田県の児童と野外活動や屋内活動、同部屋宿泊などを通して絆を深め、福島県について知ってもらおうことができ、たいへん有意義な体験であったと思います。

## 第35回東北建築賞受賞

# 『学校林を活用した坂下東幼稚園』

会津坂下町教育委員会

## 1. はじめに

会津坂下町は、教育施設適正配置事業により7園あった幼稚園を平成25年度より2園とし新たに幼稚園を建設しました。幼小連携を教育目標とし小学校と同一敷地へ建設し自由に往来できる配置としました。



園庭から幼稚園を望む

## 2. 建物概要

- 建物名称：会津坂下町立坂下東幼稚園  
 発注者：会津坂下町長  
 所在地：河沼郡会津坂下町字上口705  
 設計監理：阿部・辺見・秋月共同企業体 代表 阿部 直人  
 施工：建築設備 マルト建設株式会社 電気設備 (有)長田電気工業  
 規模：構造 木造（一部RC）平屋建て  
       建築面積 1,739㎡ 延床面積 1,380㎡  
       竣工 平成25年3月  
 概要：内部床 スギ縁甲板 t=30 生地仕上  
       内部壁 スギ羽目板タテ貼り t=12 生地仕上  
       空調 地中熱ヒートポンプによる空調

## 3. 木材の地産地消



一般流通材での小屋組み（遊戯室）

この幼稚園は、「地場産材で地元の手がつくる地域に根付いた施設づくり」を目指し、木材を前年度に分離発注、先人達が植え育てた「学校林」を伐採し、丸太をそのまま柱や方杖に使うなど森の空間を演出し、子どもたちの木への興味を抱かせております。また、内装は、杉板の無垢材を使用し、子どもたちの精神的安定や室内空調環境の向上を図っており、保護者が作成した米ぬか袋で園児と共に床を磨き維持管理に努めるとともに、施設を大切に使用する心の醸成を願っております。空調設備は、地中熱ヒートポンプを冷暖房の補助システムとして利用しておりランニングコストの軽減を図っております。

## 4. おわりに

町では、教育施設はもとより、コミュニティーセンターや道の駅でも同様な手法で建設し、公共施設等の木造化・木質化を進め木材の利用促進を行うこととしております。



米ぬか袋で床磨きをする様子



# 竹の活用に関する話題

ふくしま中央森林組合  
木戸 彌吉

日本の里山には多くの竹林が存在し、そのなびく姿は風の動きを感じさせ日本の美しい里山風景をかたちづくってきました。また、竹は、竹ぼうき、かご、ざるなどの竹細工、農林漁業資材、から、タケノコまで暮らしに欠かせない身近な資源でした。

しかし、外国からの安いプラスチック製品やたけのこが大量に輸入され、竹林に経済的価値が見いだせなくなると共に、管理者の高齢化、不在所有者、社会情勢等の変化により放置林、耕作放棄地などの要因から、竹林の手入れが行われなくなり、竹やぶへと変わり続けています。そして、竹やぶは旺盛な繁殖力により、人工林、広葉樹林を枯らすだけでなく、農地にも侵入・拡大し、森林の公益的機能の低下や農業被害などを引き起こしています。

こうした中、石川町沢井地区では公民館から自治センターへと地域の自主的運営に移行されてから「沢田竹資源研究会」を立ち上げ繁茂する竹やぶの整備と、それをチップ化し肥料として販売しています。

竹チップは積み上げておくと発酵し、肥料にすると土壌のミミズや微生物の発生を促すことから、作物の味が良くなったり、病気に強くなったりするといった効果があるとされています。

このチップは地域米や果樹、野菜に利用し地域の特産品づくり、活性化に一役買っています。

## 竹チップ肥料価格

1袋（約50ℓ・15kg）	地域内	200円	袋代別
〃	その他	300円	〃
軽ダンプ1台	地域内	5,000円	運搬費込
〃	その他	7,000円	〃

（詳しくは近内様 0247-26-4939までお問い合わせください。）

ここまで、沢井地区の取組事例を紹介しましたが、竹は使わなければその繁殖力により非常にやっかいなものですが、利用できれば成長も早く短期間で再利用できる、環境に優しい持続可能な再生資源の代表です。竹を有効利用することに知恵を結集し、それを事業にすれば地域再生にもつながります。荒廃が危惧される人工林も竹やぶも一緒に手入れをして次世代への有効な資源として保護していくことが必要です。

ふくしま中央森林組合では人工林、あるいは宅地周辺に繁茂する竹やぶの処理要望に応えるため、25年度に2t車で運搬可能な粉碎機（チップパー）を導入しました。チップをそのまま敷き詰めて繁茂防止に役立てています。また、ふくしま森林再生事業の枝葉の破碎にも利用しています。

ご利用を希望される場合は、是非当組合へお問い合わせください。



広範囲が竹やぶになってしまった森林



人工林に進入する竹頂上付近まで覆われてきた



整備された竹林



袋詰めされた竹チップ



竹チップ袋詰め



竹チップ肥料100%の米作り

ふくしま中央森林組合 電話0247-71-0755

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 6 |

# 諏訪神社の翁スギ・媼スギ

樹木医 鈴木俊行



「諏訪神社の翁スギ・媼スギ」は、田村郡小野町大字夏井字町屋地内の諏訪神社境内に生育している。諏訪神社はJR磐越東線の夏井駅から北へほど近い場所にある。

本樹にまつわる伝承として、今から約一二〇〇年前の奈良時代、光仁天皇の宝亀十一年（七八〇年）、陸

奥の岩麻呂を討伐するため右大臣藤原継縄つぐなづながこの地に立ち寄った際、諏訪大明神を祀りスギ二本を手植えして戦勝を祈願したと伝えられ、その時植えられたスギ二本が翁スギ・媼スギであるといわれる。

諏訪神社の参道を少し入ったところに、一対の巨大なスギが立っ

るが、本殿に向かって右側が「翁スギ」、左側が「媼スギ」である。推定樹齢は、二本のスギ共に八〇〇年とも一二〇〇年ともいわれる巨樹古木で、昭和十二年十二月二日に国の天然記念物に指定された。

最近計測した形状寸法は、翁スギは、樹高が三九・五〇メートル、根元周一二・三〇メートル、幹周九・二〇メートルある。枝張りは東七三・〇〇メートル、西四六・六〇メートル、南一九・七〇メートル、北八・〇〇メートルで、南側へ枝を長く伸ばしている。媼スギは、樹高が三八・〇〇メートルと翁スギよりやや低くなっている。根元周一三・五〇メートル、幹周九・五〇メートルといずれも翁スギを上回り、通例の夫婦杉とは異なり媼スギの方が太い。枝張りは東三三・七〇メートル、西二一・〇〇メートル、南一八・七〇メートル、北五・九〇メートルで、西と南側へ枝を伸ばしている。

二本のスギの間隔は根元で一・三メートルあり、この間を参道が通っていた。また、根元から高さ三・〇メートル程度割り竹を巻いて主幹を保護されていたが、いずれも現在は取り外されている。参道は踏圧による根元周辺土壌の固結を防ぐため木道が設けられ、大スギの外側を回るようになり、直接大スギに触れることが出来なくなっ

たことから、割り竹による保護も必要なくなったものと思われる。

下から見上げた大スギは、樹皮の剥落や著しい腐朽、大きな開口部などもなく、一見樹勢は良さそうであるが、枯枝が目立つようになってきている。また、媼スギの主幹が南側に傾斜していることや、主幹根元北西側には開口が見られるほか、強風や積雪による枝折れや頂部の損傷などがある。さらに、翁スギは平成六年に、強風で樹冠上部の太枝が折れ、患部が開口していたことから外科的治療を行っている。

翁スギ・媼スギは二本とも主幹は真っ直ぐ伸び上部で樹冠が一つになるように茂っている。二本ともに単木としても国内有数のスギの巨木で、同等の巨木二本が並んで立っている様子は見事なもので、まさに御神木としての威厳を感じる。



# 「地域振興を目的とした 新ブランド商品の育成開発」

■ 県南農林事務所  
林業普及指導員 長谷川 孝 則

カタいタイトルなので、思わず引いてしまう方もいらっしゃるかも知れませんが、要はホンシメジ人工栽培についてのお話です。しばし、お付き合いください。

福島県の東の玄関口の一つである塙町では、中山間地域住民のさらなる所得の向上を目指して、起爆剤となりうる新たな作目を模索していました。作目に求める条件は、既存及び他地域特産品との明確な差別化が可能なものであること。町からの相談に対し、県が実施している特用林産関係の研究について説明したところ、「ホンシメジに取り組んでみたい。」という意向が町内きこの部会から強く示されたそうです。新たな特産品として取り組んでいきたいという現場（役場と部会）の積極的な意向が示されたこと、そして取り組みに対する協力を求められたことから、当事務所がホンシメジ栽培に関する指導を行うことになりました。とはいっても、この技術は一般に普及されていませんので、だれもが安易に取り組めるものではありません。活動にあたっては、まず部会の方々にホンシメジ人工栽培の基礎を理解していただきました。そして、栽培施設の見学に次いで専用の栽培施設の新設を行い、平成26年9月11日に発生操作研修会を行う運びとなりました。開催場所は塙町内の新設ハウスで、参加者数は総勢18名でした。今回実施したのは「ホンシメジ覆土栽培法」という方法です。大まかに説明しますと、完熟した菌床に覆土を施して給水管理を行うというもので、方法自体はいたって簡単なものです。紙幅の関係上、先を急ぎます。いきなり結果です。今回収穫量は1菌床当たり205g。大したことはないな、と思われた方、それは違います。これまでの数値をお教えしましょう。同じ菌床同じ栽培方法で82g～94gというのがこれまでの値。なんと既存の2.2～2.5倍の収量アップが実現できたのです。これには指導したこちらもビックリしました。品質もすばらしいものでした。経済栽培も現実味を帯びてきましたし、組合員の方々の反応も上々。もう、やるしかありません。問題は、再現性の確認ができていないことです。何回栽培を行っても、栽培者が変わっても、どんな状況下でも一定の結果を得ることができる。これが重要なのです。普遍性を有しながら、かつ敷居も低い技術、これが真に現場の役に立つ技術だと私は考えます。現場が我々を越える日を願いながら、これからもさらなる技術の改良と普及に努めてまいります。

※栽培にあたっては林業研究センターに多大なご協力をいただきました。たいへんありがとうございました。



発生操作の研修風景です



すばらしいホンシメジができました



# 林業退職金共済制度 掛金日額の改定に ついて



林業退職金共済制度（以下、林退共）は、林業の現場で働く従事者を対象にした退職金制度で、林業従事者の労働日数に応じて共済証紙を貼り、その枚数に応じて退職金が支払われるものです。

七月号にて掛金日額改定予定のお知らせをしておりましたが、八月の閣議決定により正式な決定となりました。これに伴い日額掛金額が四六〇円から四七〇円へと十二年ぶりに改定されることとなります。改定は平成二十七年十月一日（木）からとなり、共済契約者は証紙購入、貼付等の手続きが通常とは異なりますので、各手続きにおける留意事項を紹介いたします。

## ● 共済証紙について

1. 購入について  
平成二十七年十月一日以降は旧証紙（四六〇円）が購入できなくなりますので、九月分までの就労分につきましては、九月中に概算等により購入下さい。

## 2. 旧証紙の交換について

概算等により余分に購入した証紙については、金融機関において新証紙と交換できます。ただし、金融機関での交換期間は平成二十七年十月一日から平成二十七年十二月三十一日までの三ヶ月間のみで、やむを得ない事情等により期間内に交換できなかった場合は、林退共事業本部で平成二十八年一月一日から平成二十八年九月末までの期間で対応となります。

## 3. 交換方法（計算方法）について

例1) 金融機関窓口へ持参した旧証紙1日券48枚、10日券15枚すべてを新証紙へ交換する場合

	新証紙		旧証紙		
1日券	22,090	—	22,080	=	10円
	(470円×47枚)		(460円×48枚)		
10日券	70,500	—	69,000	=	1,500円
	(4,700円×15枚)		(4,600円×15枚)	合計	1,510円

差額合計1,510円を持参することで、新証紙1日券47枚、10日券15枚に交換することができます。

例2) 林退共事業本部へ書留等で郵送した旧証紙1日券48枚、10日券15枚すべてを新証紙へ交換する場合  
計算方法：新証紙枚数＝旧証紙枚数に460/470を乗じて得た数の小数点以下の端数を切り捨て

	新証紙
1日券 48枚×460/470=46.978……	46枚
10日券 15枚×4,600/4,700=14.680……	14枚

林退共事業本部においては差額金の徴収は致しませんので、新証紙1日券46枚、10日券14枚との交換になり、端数は切り捨てとなります。

## ● 共済手帳について

1. 旧共済手帳への証紙貼付について  
平成二十七年九月三〇日以前に発行された旧共済手帳については、九月分までの就労分を旧証紙（四六〇円）で貼付し、十月分からの就労分は同手帳に引き続き新証紙（四七〇円）を貼付ください。

2. 新共済手帳への証紙貼付について  
平成二十七年十月一日以降発行の新共済手帳には、新証紙（四七〇円）を貼付してください。

以上が今回の制度改正に伴う代表的な留意事項となりますが、林業退職金共済事業福島県支部としても円滑な制度改正への対応に努めてまいりますので、上記事項以外の事例や質問等がございましたら左記へ御相談ください。また、引き続き当制度を御活用の上、林業従事者の福利厚生にお役立てください。

福島県森林組合連合会内  
林業退職金共済事業福島県支部  
024-523-0255

きのこセンター  
だより

## 安全・安心福島のきのこ ふくしまの恵みを大阪で発信 ～福島県ミニきのこ祭り in 大阪～

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

平成二十七年七月十一日（土）・十二日（日）の両日、大阪市北区にある近畿中国森林管理局の森林のギャラリーにおいて福島県ミニきのこ祭りを開催しました。

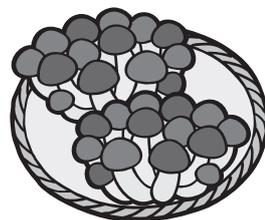
これまで県外での福島県産きのこのPRは、東京を中心に行ってきましたが、大阪は、西日本での本県の情報を発信する拠点であることから、今回は、原発事故による風評を払拭するため福島県産きのこの現状を正確に伝えることや販路拡大に向けて情報を収集することを目的として大阪で開催することとしました。

開催に当たっては、「ふくしまの恵みPR支援事業」の支援を受け、福島県きのこ振興協議会と（公社）福島県森林・林業・緑化協会が準備を進めてきました。



来場者への福島県産きのこの説明

会場内では、パネルにより福島県きのこの生産を取り巻く現状や本県産きのこの安心・安全対策、郷土料理等を紹介するとともに、シイタケ、ナメコ、エリンギ等が発生している菌床を展示



きのこ振興センター



木箱の工作（ナメコとオオヒラタケの瓶を入れて完成）

し、きのこの種類や育て方など来場された方々への説明と併せて本県の現状やきのこ栽培の現状を紹介しました。また、福島県産の生シイタケやきのこ加工品のプレゼントのほか、きのこ栽培容器を入れる木箱の工作や本県産の木製品やきのこの加工品が当たる抽選会、きのこの塗り絵やスケッチのコーナーなど、遊びながら福島県きのこを知ってもらう体験コーナーも設けました。催しの最後には、子供達も参加して展示しているきのこの採取会を行い、きのこは苦手という子供もいましたが、自分で取ったきのこは、



展示きのこの採取会

きつとおいしく食べていただけたことと思います。初めての関西での開催ということもあり周知方法には戸惑いましたが、福島県の大阪事務所の方々から開催情報を福島県人会や関係する企業、新聞社等へ伝えていただき大変強い思いをしました。関西地方へは、福島県きのこの流通はまだ少ないのですが、多くの農産物は出荷されており、今回はきのこを通して福島県の農林産物の情報を発信できたと思います。

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(6月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	9 (9~10)	△1	9 (8~10)	0	
		10~13	4.00	並	スギ	11 (10~12)	0	9 (9~9)	0	11 (10~11)	0	11 (9~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	10 (9~13)	△1	12 (12~12)	0	10 (10~11)	0	11 (9~13)	0
			並	ヒノキ	13 (13~13)	△4	(0~0)	0	16 (14~17)	1	14 (13~17)	△2	
		6.00	並	スギ	16 (12~19)	0	8 (8~8)	0	16 (15~16)	0	14 (8~19)	△1	
			並	ヒノキ	25 (25~25)	△5	(0~0)	0	23 (19~26)	0	24 (19~26)	△2	
	20~28	3.65	並	スギ	10 (9~12)	△1	12 (11~13)	1	10 (9~11)	0	11 (9~13)	0	
		4.00	並	アカマツ	9 (8~9)	0	(0~0)	0	8 (8~9)	0	8 (8~9)	0	
		1.80	並		6 (5~6)	0	(0~0)	0	6 (5~7)	0	6 (5~7)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (26~35)	0	31 (26~35)	0
並				米マツ	35 (35~35)	0	30 (30~30)	1	32 (28~35)	0	32 (28~35)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (26~28)	0	27 (26~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	33 (28~38)	△1	33 (28~38)	△1	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(5~5)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	
			並	広葉樹	(7~7)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	

五月の原木市場への入荷状況は、前月比二五割減(前年比一〇割減)の二〇、一七五立方メートルとなっている。  
 販売量については、前月比二三割減(前年比九割減)の二〇、六八立方メートルとなっている。  
 六月の価格については弱気配の状況が続いている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	12 (10~13)	0	10 (9~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

次に、県道原町川俣線を南相馬市へ走り、「石ポロ坂トンネル」を抜けると、南相馬市との市町村境に「八木沢峠」があります。この「八木沢峠」付近は急勾配や急カーブが続く県道原町川俣線最大の難所で、冬期にはスリップ事故等で度々通行

私は、福島市から伊達市月舘町を経由し、県道三一五号線で飯舘村に入りますが、しばらくすると、左側に「山津見神社」の看板が目に入ってきます。「山津見神社」は山の神である大山津見神を祀っており、狼の天井絵でも知られております。震災前の神社の例大祭には毎年約三万人の参拝者で賑わう飯舘村のシンボリック存在でしたが、平成二五年四月の火災で社殿や宮司宅が焼失しました。しかし、昨年九月から再建工事が始まり、現在では、ほぼ完成し、以前の荘厳な姿が蘇りました。

相双農林事務所は、毎日、自宅の福島市から合庁のある南相馬市まで車通勤をしております。今回、通勤ルートにある飯舘村で新たな動きをしている「山津見神社」と「八木沢峠」について紹介したいと思っております。



### 飯舘村を通過中

相双農林事務所 阿部 正久



再建された山津見神社拝殿

止めとなります。現在、この峠の通行の改善に向け「八木沢トンネル」(全長一、三四五メートル)の工事が進んでおり、平成三〇年代の早い時期の全線開通が予定されています。  
 現在、飯舘村は、全村で避難し、除染作業が行われております。一日でも早く、震災前の飯舘村に戻り、住民が帰還できることを願っております。



# 青

九月七日は「白露」。草に降りた露が白く光って見える頃、歳時記ではもう仲秋である。秋は、夏の湿り気が残っている上に、夜が長くなり冷え込みが強くなるので露がよく結ぶという。露時雨、露見草、露の玉など美しい言葉が多い。

今年は、立秋の頃から、夜風が日中の酷暑を鎮めるかのようで、俄かに涼しくなった。突然夏に逝かれたようで、その変化に戸惑いを感じていた。

しかし、九月の空はきれいな青となり、光も夏の勢いが衰え、柔らかくなってきた。移動性高気圧のため、澄んだ空気と共に爽やかである。そして、時に、入道雲と罍雲とが一緒に見られ、二つの季節が行き交う「ゆきあいの空」がある。大地にも大空にも晩夏と初秋とが重なり合って、少しずつ秋が熟していくようだ。

以前NHKの「秋の朝のイメージは何色ですか？」という調査で第一位は「青」だった。さわやか・希望・明るさ・静寂という印象らしい。サムライブルー・ジャパニーズブルー（藍色）等「青」は日本人好みの色といえるだろう。月の夜には、尊いほどの穏やかな月の光そして闇の柔らかな暗さを感じるのも黒に近い群青の夜空のせいかも知れない。

青の世界は、濃淡深淺によって明るい印象から闇に近い印象まで実に神秘的で、深淵にひきこまれる感がある。

秋が落ち着きをみせるまで、いや、落ち着きをみせてからも空の青さを楽しんでみてはいかがだろうか。

九月 天高しの季節である。

（都）

## 表紙の写真



「自然になじむ治山ダム」

第11回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した近藤広章さん（白河市）の作品。

編集

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

発行人

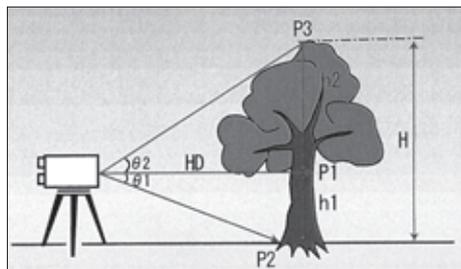
相馬 雅俊

陽光社印刷株式会社

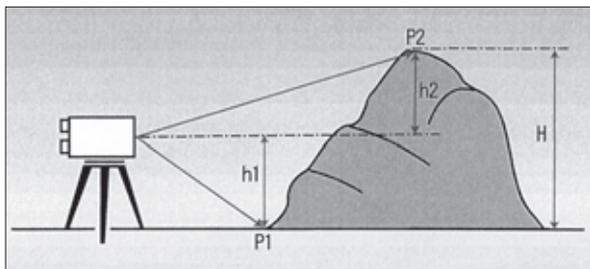
（定価 一〇八円）

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合



2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5 mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650 g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

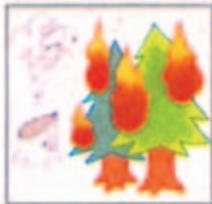
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



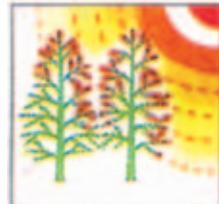
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

**GP-45V** グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

---

**ヤマビル対策に**

マリックスター(駆除剤)

**蜂さされ防止**

ハチノックL(楽退治)  
ハチノックS(携帯用)

---

**タケを駆除する**

クロレートS

**大切な日本の松を守る 住化グリーンの林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

与作シート(茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ



**竹もOK!**  
**SR3000-2**  
出力 **22.3kW** (質量1,330kg)  
水冷ディーゼル  
**X379301020**  
¥3,375,000(税抜)

プロソー



**GZ3900EZ**  
排気量 **39.1cm<sup>3</sup>** (質量4.4kg)  
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)  
95VPX 967159303  
HS 25AP 967159104  
91VXL 967159204  
HM 21BPX 967159404  
95VPX 967159305



**GZ4300EZ**  
排気量 **43.1cm<sup>3</sup>** (質量4.4kg)  
**45cm(18")**  
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)  
95VPX 967159902  
HM 21BPX 967160504  
95VPX 967159904

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1